

北米 生食用ブドウ今年春夏の見通し

FreshFruitProtal 2023年5月2日

アリゾナ州ノガレス市に拠点を置くディバイン・フレーバー社の販売担当副社長であるカルロス・ボン氏は本サイトに対し、2023年夏のブドウの供給と市場の見通しについて、「我々は明確な考えを持っていると思う。第一に、技術的には、春と夏が重要だ。5月は間違いなく、ブドウの供給についてこれまでに経験した中で最も難しいものになるだろう。チリの出荷は早く始まった。ブラジルでは雨が降った(収穫が遅れた)。ペルーの2回目の収穫も雨が降り、ソノラ州(メキシコ)の収穫はかなり遅く始まる。ハリスコ州(メキシコ)は、4月と5月に出荷するすべての産地の中で、非常にうまくいっている唯一の地域である。ハリスコ州はまだ出荷期間の途中で、市場を充足するのに必要な量を十分に供給できないため、5月はブドウを確保するのが難しい月になるだろう」と語った。(以下「」は同氏の発言)

ボン氏は、緑色ブドウと赤ブドウの両方で価格が通常よりも高くなると言う。赤ブドウの方が、間違いなく厳しくなるだろう。ソノラ州では、緑色ブドウの出荷は赤ブドウよりもかなり早く始まる。5月の末から6月の初めになると、ソノラ州の出荷量は増え始める。6月は出荷量が勢いを取り戻し、良い月になるはずである。

「甘みの強い品種や地域特産の品種、通常の赤、緑、黒のブドウなどあらゆる種類の品種について、有機栽培も慣行栽培も販売促進の機会がこれから多くある。生産者としても小売業者としても5月に失った売上を取り戻すため、取引先と連絡を密にして協力することが重要になる。利益を取り戻すためには、適切な時期(週)と適切な価格帯をピンポイントで特定することが重要になる。」

「7月の第1週も供給が不足する可能性があるため、少し難しくなるだろう。弊社はまた、メキシコ産の後半で最大の生産者であり、弊社のメキシコの農場にはかなりの量がある。カリフォルニア州の早生産地であるサンホアキンバレー地域では、涼しく、雨が多いため出荷が遅れているようだ。弊社の晩生のブドウは常に最高の品質なので、(カリフォルニア州が遅れている分)いつもより多くのブドウを販売するチャンスがある。しかし、全体として、今年のメキシコ産からカリフォルニア州産への移行は簡単ではないと思う。」

台湾 輸入ブルーベリーもA型肝炎検査で陽性

Taiwan News 2023年5月4日

台北(台湾ニュース) - コストコ台湾が17,000kgの汚染された冷凍ベリーミックスを消費者に販売したという先週のニュースに続いて、同社が輸入した15,000kg以上の冷凍ブルーベリーがA型肝炎の検査で陽性となった。(先週のニュース関連については省略しました。No36を参照してください。)

SETニュースによると、食品薬物管理署(FDA)は記者会見で、カーランドシグネチャ社が製造し、コストコ台湾が輸入した15,236kgのブルーベリーから採取したサンプルもA型肝炎の検査で陽性となり、コストコ台湾に対し6月2日まで冷凍ベリー類の輸入を禁じたと発表した。

コストコは、問題の製品と同じ賞味期限の冷凍ベリーを購入した会員に通知を送ると発表した。同社はまた、製品をリコールし、監督機関の要請に協力する。

同社は、賞味期限が2024年2月24日と2024年2月25日の冷凍ブルーベリーを購入した会員に対し、消費を中止し、最寄りのコストコ店舗に返品するよう通知した。

コストコは、各店舗に返品カウンターを設け、引き続き返品を受け付けると発表した。発熱、倦怠感、嘔吐、腹痛、黄疸などA型肝炎の症状が疑われる場合は、治療を受け、最近の食事の履歴を医師に知らせる必要がある。汚染されたベリー類について質問がある消費者は、コストコのカスタマーサービスセンターに連絡するよう奨励されている。

執筆者: ケオニ・エベリントン